

陸上自衛隊

令和 8 年 (2026 年) 3 月 31 日現在

3 施設 土地面積合計 国有地 (行政財産) 991,484 平方メートル

施設名	久里浜駐屯地
所在地	横須賀市久比里 2 丁目 1 番 1 号 (旧海軍通信学校)
土地面積	376,205㎡ (行政財産)
使用の状況	自衛官、事務官と学生 (幹部、陸曹、陸曹候補生、生徒、陸士) がおり、ほとんどが通信科隊員で、単一職種の駐屯地である。システム通信・サイバー学校、中央野外システム通信隊などが駐屯している。

施設名	武山駐屯地
所在地	横須賀市御幸浜 1 番 1 号 (旧武山海兵団長井分団)
土地面積	518,648㎡ (行政財産)
使用の状況	東部方面混成団、高等工科大学、業務諸隊が駐屯している。東部方面混成団は新入隊員に共通基本訓練、高等工科大学は技術陸曹養成、業務諸隊はこれらの支援業務を行っている。

施設名	武山駐屯地長坂基本射撃場
所在地	横須賀市長坂 3 丁目 33 番 1 号 (旧海軍大楠機関学校射的場)
土地面積	96,631㎡ (行政財産)
使用の状況	戦後接收されたが、昭和 44 年 8 月 16 日 返還をうけ、陸上自衛隊が使用している。米軍は地位協定第 2 条第 4 項 (b) により、共同使用している。

航空自衛隊

令和 8 年 (2026 年) 3 月 31 日現在

2 施設 土地面積合計 138,573 平方メートル

(内訳) 国有地 (行政財産) 138,493 平方メートル
民有地 80 平方メートル

施設名	武山高射教育訓練場
所在地	横須賀市御幸浜 3 番 1 号 (旧武山海兵団長井分団)
土地面積	109,024㎡ (行政財産)
使用の状況	地对空ミサイル (ペトリオット) [中部高射群第 2 高射隊発射地区] 基地として使用している。

施設名	武山高射教育訓練場長井統制地区
所在地	横須賀市長井町 大原 (旧海軍武山航空基地)
土地面積	29,549㎡ (行政財産 29,469㎡、民有地 80㎡)
使用の状況	昭和 37 年 9 月 5 日 日米合同委員会で正式に合意され、レーダー統制所として使用していた。 昭和 60 年 5 月 31 日 長井住宅地区の一部返還後、所管換。

その他機関

令和8年(2026年)3月31日現在

3施設 土地面積合計 701,847平方メートル

(内訳)国有地(行政財産)701,214平方メートル

公有地 45平方メートル

民有地 588平方メートル

施設名	防衛大学校
所在地	横須賀市走水1丁目10番20号(旧小原台演習砲台、海軍小原高角砲台、走水第3砲台陸軍花立砲台)
土地面積	645,144㎡(行政財産 644,511㎡ 公有地 45㎡ 民有地 588㎡)
使用の状況	昭和27年保安大学校として発足。昭和30年現在地に移転。将来陸上・海上・航空各自衛隊の幹部自衛官となるべき者の教育訓練をつかさどるとともにそれらに必要な研究を行う防衛省の施設等機関です。

施設名	防衛大学校走水海上訓練場
所在地	横須賀市走水2丁目17番地(旧海軍走水防備隊)
土地面積	19,249㎡(行政財産)
使用の状況	カッターや機動艇訓練が行われる訓練場。

施設名	防衛装備庁艦艇装備研究所久里浜地区
所在地	横須賀市長瀬3丁目13番地1(旧海軍対潜学校)
土地面積	37,454㎡(行政財産)
使用の状況	水中武器、音響器材、磁気器材及び掃海器材についての考案、調査研究等の業務を行っている。